【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【公開番号】特開2014-155688(P2014-155688A)
【公開日】平成26年8月28日(2014.8.28)
【年通号数】公開・登録公報2014-046
【出願番号】特願2013-224180(P2013-224180)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｊ　7/02　(2006.01)
Ａ６１Ｊ　3/00　(2006.01)
Ｂ６５Ｂ　69/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｊ　7/00　Ｄ
Ａ６１Ｊ　3/00　３１０Ｅ
Ｂ６５Ｂ　69/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成27年1月19日(2015.1.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１枚の錠剤シートを支持台上に保持可能な保持部と、
前記保持部の重力方向下側に設けられ、前記保持部に保持された前記錠剤シートを錠剤取出し位置に向けて搬送する搬送ローラと、
前記搬送ローラにより、前記錠剤シートが前記錠剤取出し位置に重送されないようにするための重送防止板と
を備え、
前記搬送ローラは、前記錠剤シートの上面と、前記重送防止板の面とのなす角度を、変化させるように回転することを特徴とする錠剤取出し装置。
【請求項２】
前記搬送ローラには突起が設けられ、前記搬送ローラは、当該突起により前記錠剤シートの上面と、前記重送防止板の面とのなす角度を、変化させることを特徴とする請求項１に記載の錠剤取出し装置。
【請求項３】
前記突起は、前記搬送ローラに複数設けられることを特徴とする請求項２に記載の錠剤取出し装置。
【請求項４】
前記搬送ローラに設けられる前記突起は、前記錠剤シートの搬送方向に対して左側と、前記錠剤シートの搬送方向に対して右側とで回転軸から見て異なる位置に設けられることを特徴とする請求項２又は３に記載の錠剤取出し装置。
【請求項５】
前記突起が前記搬送ローラの上端にあるときに当該搬送ローラを側面から見た際の、前記突起の前記錠剤シートの搬送方向の下流側の面と、当該突起が設けられた搬送ローラの接線とのなす角度が鈍角となるように、当該突起は傾斜部を備えることを特徴とする請求項２乃至４の何れか１項に記載の錠剤取出し装置。

【請求項６】
前記突起は、前記搬送ローラの外周に設けられることを特徴とする請求項２乃至５の何れか１項に記載の錠剤取出し装置。
【請求項７】
前記搬送ローラは、重力方向に対して上下に当該搬送ローラを動かす駆動部により前記錠剤シートの上面と、前記重送防止板の面とのなす角度を、変化させることを特徴とする請求項１乃至６の何れか１項に記載の錠剤取出し装置。
【請求項８】
前記搬送ローラは、当該搬送ローラを回転させるための回転軸であって、当該搬送ローラの中心からずれた位置に設けられた回転軸により前記錠剤シートの上面と、前記重送防止板の面とのなす角度を、変化させることを特徴とする請求項１乃至７のいずれか１項に記載の錠剤取出し装置。
【請求項９】
前記搬送ローラの形状を楕円形にすることにより前記錠剤シートの上面と、前記重送防止板の面とのなす角度を、変化させること特徴とする請求項１乃至８のいずれか１項に記載の錠剤取出し装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明は、少なくとも１枚の錠剤シートを支持台上に保持可能な保持部と、前記保持部の重力方向下側に設けられ、前記保持部に保持された前記錠剤シートを錠剤取出し位置に搬送する搬送ローラと、前記搬送ローラにより、前記錠剤シートが前記錠剤取出し位置に重送されないようにするための重送防止板とを備え、前記搬送ローラは、前記錠剤シートの上面と、前記重送防止板の面とのなす角度を、変化させるように回転することを特徴とする。